

「赤い羽根共同募金」の街頭活動を行いました

磯子区内では、10月2日に「赤い羽根共同募金」の街頭活動を実施しましたが、杉田地区民児協はJR新杉田駅改札前・京急杉田駅プララ入口にて行いました。

今年はいつまでも残暑が厳しかったですが、当日は天気もまずまずで過ごしやすい日となり、2ヶ所合わせて約20名が声を出し、終始和やかに活動は行われました。

お忙しいにもかかわらず通る多くの皆さまがわざわざ足を止めてくださり、募金のしるしとして赤い羽根を受け取っていただきました。

また終了後に皆さまからの温かいご支援を、磯子区社会福祉協議会に届けました。

一年に一度のこの取り組みは地域の皆さまと直接触れ合える貴重な機会です、私たちにとても大切な行事となっています。

今後とも思いやりの輪を広げていけるよう、民生委員一丸となって取り組んでまいります。

(杉田地区 御苑 由枝)



民児協いそご

発行：
磯子区民生委員
児童委員協議会

第52号
令和7年11月11日

今年の磯子まつりと主任児童委員の3年間の活動を振り返って

今年の磯子まつりでは「手作りあそび広場」を開催し、『魚つり』や『タコタコボン』など家でも簡単に作ることができるゲームをたくさんのお子さんに楽しんでいただきました。

「私も作れるかも…」と写真を撮る保護者の方もいましたが、こういった活動が「家で親子が過ごす」ヒントになればいいなとも思っています。

3年間の活動を振り返ると、まず『ティンカーベル活動』が復活しました。『ティンカーベル活動』とは、磯子区の主任児童委員が結成するグループで、「親と子のつどいの広場」等に伺い、手遊びしたり歌ったりしながら、顔の見える関係づくりを目指すものです。これまでたくさんの親子の皆さんと触れ合うことができました。

また、学校行事や協議会等に参加し、先生方との信頼関係をつくることにも努めています。学校との情報共有や継続して活動することの大切さを強く感じています。

子どもをとりまく課題について学ぶことも大切です。講演会や研修、施設訪問も積極的に行いました。

地域を見守り、必要であれば関係機関につなぐ役割、私たち主任児童委員の大切な仕事だと考えています。

3年の任期を終え私たちの活動も一区切りです。12月の一斉改選で顔ぶれは少し変わりますが、新たなメンバーを迎え、新たな気持ちで活動していきたいと思っています。

磯子区主任児童委員連絡会 代表 今井 裕子



◆「ティンカーベル活動」では地域に直接伺いました。

◆「磯子まつり」では、毎年多くの親子の皆さんにご来場いただきました。

民児協一泊研修に参加して

9月7～8日、総勢66名が参加して恒例の一泊研修を実施しました。

往復の車中では人権についての動画を視聴しました。1本目はいわゆる「8050問題」を通じたひきこもり支援を扱ったもので、周囲の辛抱強い努力と理解が必要ということを知りました。2本目は、無意識の固定観念や偏見がテーマで、何気なくかけた一言が相手を深く傷つけたりすることがあるという話で、言葉の重要性と難しさを再認識しました。

研修のメインは静岡県沼津市にある「あしたか太陽の丘」の視察です。この施設は広大な敷地の中で、障害の程度に応じた自立訓練・就労移行支援・施設入所支援等様々なサービスを提供し、施設利用者の社会参加と自立に向けた支援を行っている施設です。

役所や企業から委託を受けて製品を納品する等、賃金を得ている方も多いとのことでした。

作業の様子も見学しました。皆さんが真剣に作業されている姿に刺激をもらいました。

移動中には、箱根の恩賜公園で芦ノ湖を眺めながら散策をし、十国峠ではケーブルカーで頂上から360度のパノラマを満喫しました。

また、参加者同士の交流を通じてさらに結束が強まるのも感じ、とても有意義な研修となりました。

(上笹下地区 北見 一彦)



◆施設は自然に囲まれた敷地内にあります。



◆十国峠での集合写真

ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業について

横浜市の「ひとり暮らし高齢者等『地域で見守り』」推進事業では、80歳以上の方を対象とした訪問活動を行っています。

一方、民生委員の通常の活動では、年齢に関わらず見守りの必要な方への訪問等を行っています。見守りを希望される方は、右の担当までご連絡ください。福祉保健課運営企画係 750-2411



編集後記

あっという間の3年間。今後も民生委員活動の情報を微力ながら伝えていきたいと思っております。

【屏風ヶ浦第一地区 村上 千鳥】

令和4年12月に民生委員となり、右も左もわからないまま広報委員へ推薦され、民児協いそご47号よりこの52号まで関わらせていただきました。やってみればあっという間の3年でした。読者の皆さま、民児協いそごをこれからもよろしくお願いたします。

【屏風ヶ浦第二地区 大山 亮一】

広報委員会名簿

- 根岸地区 長田 みどり
- 滝頭地区 堀部 孝治
- 岡村地区 田辺 美代子
- 磯子地区 柳澤 浩子
- 汐見台地区 高木 美枝子
- 顧問：屋代 昭治 溝口 早苗 内藤 満
- 屏風ヶ浦 第一地区 村上 千鳥
- 屏風ヶ浦 第二地区 大山 亮一
- 杉田地区 中島 裕見子
- 上笹下地区 北見 一彦
- 洋光台地区 小川 恵美

もくじ

主任児童委員の活動について.....	1
「民生委員・児童委員をやってよかった」.....	2
赤い羽根共同募金／民児協一泊研修／「地域で見守り」推進事業／編集後記.....	4

(注)本文中、「民生委員・児童委員」は、とくに必要な場合を除き、「民生委員」と表記しています。

民生委員・児童委員を

やってよかった

～1期3年を振り返って～

民生委員の委嘱期間は3年間で、今年の12月からは新しいメンバーを迎えて活動を始めます。

これまでの活動の思い出などについて、地区の民生委員に聞いてみました。

【根岸地区】

民生委員にと声がかかった時、この地域で子供と私自身を育てていただいたとの思いで、引き受けさせていただき5年が経ちました。平日仕事があったため、訪問活動は土曜日か日曜日に限られましたが、近況を聞いたりたわいのないおしゃべりをしたりしてきました。そこで、何か私にできることはと考え、少しでも日々の活力になればと思い、「一言バースデーカード」を作りお渡ししています。仕事柄この様なカードを作ることは、私自身の楽しみでもありました。また受け取ってくれた方々が、並べて飾ってくださっているのを見るとうれしく思い今後も続けようと思いました。明るく挨拶ができ

気軽に相談してくれる雰囲気の中で、民生委員は日々新しい発見のある楽しい活動です。

(大木 喜美代)



◆手作りのバースデーカード

【岡村地区】

民生委員を始めた当初は「何をしたらよいのだろう?自分には特別なスキルは無い」等と考えていました。

昔の民生委員の活動内容を調べてみますと、担当する方の生活にかなり入り込む場面もあり、今の民生委員の活動内容とだいぶ違っているようです。

でも現在では、介護保険等の各種福祉サービスが充実しており、ある意味で分業化されているようです。

そこで、私たち民生委員は地域の方の「小さな変化に気づく」というスキルを磨いていく必要を感じています。

民生委員の活動には、色々な研修が提供されていますので、スキルアップを図りながら行政やケアプラザ等の機関に事案を引き継いでいきたいと思います。

「小さな変化に気づく」民生委員の仲間を募集中です。

(本間 太一)

【汐見台地区】

令和4年12月の民生委員の一斉改選から3年たちますが、前期任期期間はコロナに翻弄された3年間で、地域の訪問活動等もままならない状況でありました。

3年続いたコロナ禍が収束を迎えた時期に新たな任期がスタートしましたので、疲弊した地域を如何に日常に戻すかが最大の課題であり、そのためには民生委員本来の活動を地道に続け、地域の皆様の信頼に応えることだと地区民児協で話し合いました。

地区の民生委員は任期の若い方が多いのですが、幸いのごとくに人財に恵まれて、闊達に活動に取り組んでいただき、地域の皆様の期待に少しでも応えることが出来たのでは考えています。

この好循環をしっかりと次期民生委員の皆様に繋げ、安心・安全な地域社会づくりに貢献していきます。

(屋代 昭治)

【杉田地区】

初めは、分からないことばかりのスタートでした。

まず、ひとり暮らしの方のお宅に伺い、「お元気ですか?お困り事はありますか?」と会話を重ねていくうちに、お顔と名前をしっかりと覚えていきました。

また地域では、見守り活動「友愛」からお誘いして、ネックレス等のものづくり活動をしています。

ご自身で作成した作品を付けて、「土曜懇話会」といった集まりに参加していただき、それぞれの出来栄を褒めあったり、会話を楽しむ姿をみると、こちらも明るい気持ちになれます。

終わってみると短いようですが、たくさんの高齢者の方々と知り合う機会は、人生の中ではそうはないと思います。良い経験をさせて頂きありがとうございました。



(藤井 信子)

【屏風ヶ浦第一地区】

50年前に結婚し、初めて磯子の町に来ました。その後共働きしながら、今でいう「ワンオペ」で三人の子どもを育てました。

その後は親の介護があり、これまで仕事や子育て、介護と無我夢中で、ご近所やこの街、磯子、横浜、日本、そして世界のことまで考える余裕がなかった気がします。

地域の皆さんに恩返しをしたいと考え始めた矢先、自治会の役員の方から声をかけられ、「保健活動推進員」と「民生委員」を同時に始めることとなりました。

私の地区は、2つのケアプラザの区域が横断している等、難しさを感じることもありましたが、同じ地区の民生委員の皆さんにやさしく教えていただき、会議もいつも和やかな雰囲気の中で楽しく充実した活動ができました。

(磯貝 えり子)

【上笹下地区】

民生委員として二期目を迎えたこの三年間は、研修委員を担当しました。

研修委員会とは、年に5回区役所の会議室で開催され、各地区の事例発表等を行い、課題の解決のため委員が話し合いを行うものです。

私もこれまで2回の事例発表を行いました。それぞれの事例には、各地区固有の課題があり、大いに啓発されました。

事例発表の後には、各委員からの質問に対する、当該発表者の回答や、ベテランの委員から経験に基づく懇切な解説をいただく、という有意義な時間でした。

また、これらの事例はその都度、地区の協議会で紹介することで情報の共有を行い、今後の活動の参考にいたしました。

(中沢 利郎)

【滝頭地区】

2022年12月から民生委員の役割を担うことになり特に不安、心配を感じることはありませんでした。主に高齢の方を訪問して常識から逸脱のない言動を原則として務めようと考えました。

自治会では滝頭地域ケアプラザの協力をいただき「ミニ講座&出張相談会」を毎月一回(年12回)開催しています。参加者は少ないですが内容は浅くはなくとても充実した内容です。参加者数を増加することが課題です。

訪問先の皆さんが何を求め、何を不安に思っているのか、自分では分かったつもりでも違うことが多々あることでしょう。気づき、つなぎ、見守ること、地区民児協、自治会町内会で情報を共有し活動に反映できるよう、これからも取り組みを続けていきたいと思います。

(堀部 孝治)



◆地域のミニ講座のお知らせ

【磯子地区】

この三年間は、長く続くコロナ禍で制限されていた活動が、漸く再開し始めた期間でした。

私の担当地区のマンションも、みなとみらい花火大会に合わせた「納涼祭」が昨年から再開され、老若男女 大勢の皆さんが、模擬店やビンゴ大会をはじめ笑顔で楽しむ姿が見られました。

これまで、お年寄りの集い「月曜サロン」等のコミュニティを通じて培われた連帯感や、人と人との見守りの関係が少しずつ根付いていることも再認識し、民生委員の仕事は、皆さんの生活の中の、ほんの一部をお手伝いさせて頂くことだと実感しました。

私は今期で退任します。難しい事や困った事もありましたが、それ以上に貴重で心豊かな経験をさせて頂きました。

これまで支え励まして下さった皆様に心からお礼申し上げます。

(高橋 恵子)

【屏風ヶ浦第二地区】

2019年12月に委嘱され、現在二期目になります。

定期的に訪問活動を行う中で地域のことや生活上の困りごとの相談を受けることがあります。

相談ごとを解決できたときや、ケアプラザなどの関係機関への橋渡し役としてうまく機能できたときにいただける「ありがとう、あなたに相談してよかった」という言葉と笑顔が私の活動の原動力になっています。

また、同じ地域内の民生委員同士の横の連携も大切にしながら「地域社会に貢献し、安心して暮らせる地域づくりの一助」になれるよう活動していきたいと考えています。



これからも「気兼ねなく相談できる人」、「気さくに話せる人」をモットーに訪問活動を続けていこうと思います。

(白石 喜明)

◆定例会は和やかな雰囲気

【洋光台地区】

民生委員として委嘱され、高齢者の見守り等の活動を始めて6年が経ちます。この間、見守り活動を通じて多くの皆さんと深い信頼関係を築くことができました。

また、一人ひとりと心を通わせることで、地域の皆さんとの絆がさらに深まり、関係機関の人とのつながりも強くなったことにも感謝しています。

また、見守り活動を通じて自分自身の成長を感じることができました。

私は合気道を指導しているのですが、弟子に指導したつもりが、その何倍も逆に教えられたことがたくさんありました。このような謙虚な気持ちを常にもって、支え合う喜びを実感し、これからも地域の力になれるよう努めてまいりたいと思います。

(戸田 満)